

世界的な株価下落についての会頭コメント

米国証券大手リーマン・ブラザーズの経営破綻に端を発する今回の金融不安に対して、景気の後退局面に入った日本経済は、株価や為替、さらに原油・先物市場への影響に注視していく必要がある。

また、事実上、政治が停滞している中で、今回の混乱が、苦境に立たされている中小企業への追い打ちとならないよう、政府、日銀は国際的な連携のもと金融市場の安定確保に向けて、適切な対策を講じてもらいたい。

今後しばらくは、株価や為替市場の不安定な状況が続くことが予想されるが、会員企業には金融・株式市場の動向に必要以上に動揺せず、中長期的な視野に立って自社事業の強みを軸とした経営に努めるよう呼びかけたい。

また、今回のリーマン・ブラザーズの経営破綻に対する対応が、サブプライム問題の本質的な解決に向けた第一歩となることを期待したい。

平成20年9月16日
京都商工会議所
会頭 立石義雄